

昭和二十四年六月一日逕檢省特別披承認雜誌第四五三號  
昭和三十五年十月一日發行(毎月一回發行)

# 哲學研究

第四十一卷 第一冊

第四百七十一號

昭和三十五年十月一日發行

構想力の問題……………石田仁

フツサールの「エイドス」……………青木隆嘉

精神現象學の成立史……………米倉守

——ヘーゲル精神現象學の研究——

新着外國雜誌所載論文一覽

京都大學文學部内  
京都哲學會

## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
  - (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく  
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會に賛助員若干名をおく  
賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない  
學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年一、二二〇圓（會誌十二冊分を含む）を前納する  
但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

## 京都哲學會役員

委員

本	武	松	蓮	野	西	長	土	棚	田	武	高	園	島	重	柿	大	臼	上	井	石	池	有
吉	藤	尾	實	田	谷	尾	岐	瀬	中	内	田	原	澤	芳	崎	峯	井	野	島	田	田	賀
良	一	義	重	又	啓	雅	邦	襄	美	義	三	太	芳	俊	祐	二	照	勉	島	田	鐵	太
治	雄	海	康	夫	治	人	夫	爾	郎	範	郎	郎	夫	郎	一	顯	尚	夫	勉	仁	祐	郎

# 京都哲學會公開講演會

日時 十一月十二日（土）午後一時半

會場 京都大學文學部第一教室

原始藝術における抽象の問題……………京都大學教授 蓮實重康

——土偶——

使徒パウロの神秘主義について……………京都大學助教授 武藤一雄

☆ 右終了後樂友會館にて懇談晚餐會を開きます。多數御參會下さい。（會費約五〇〇圓）  
☆ 所屬機關宛主張許可依頼狀御入用の方は京大宗教學研究室まで御申出下さい。

あるまい。溯問は常に同時に生世界へ根源的反省を投げかけることとして、受動、能動の二方向を統一の方向へ垂直に突破した場所において行われねばならぬのであるから、意味と存在との關係をめぐる存在論的考察を生世界とエゴとの一體化的具體相において、ザハリッヒに遂行することがなければならぬ。特に、その獨自の直證性を十分に解明することが必要である。それによつて始めて、存在と意味との間の根源的關係が示され、かくして現象學は「現象學の現象學」としての「自己還歸」を行い、自己自らの中から基礎づけられることとなるであらう。(了)

(筆者 九州齒科大學〔獨逸語〕非常勤講師)

前 號 目 次	
結 合 點……………	植 田 壽 藏
——目の寄り合う場所——	
原初期ギリシヤとハイデッガー……………	田 中 加 夫
目的論的人間の定位……………	鹿 毛 誠 一
彙 報	
第四十卷總目次	

解釋を受け入れながら、後半の部分を、ホフマイスターがしたやうにさまざま「精神哲學」と解しないで、眞實にヘーゲルの言葉の意味に於て「精神の現象學」であると解し、従つて現象學の成立過程を「個人的意識の現象學」から「精神一般の現象學」への成長と解したのは、妥當な解釋であると考へられる(Hypothese, Genèse et Structure de la Phénoménologie de l'Esprit, p. 58-59, 65, 71)。そしてこの解釋は、また、現象學の前半から後半への移り行きを、「意識の現象學」から「客觀的精神の現象學」への移行と解される務臺博士の解釋とも一致するわけである(同博士、ヘーゲル研究、七六頁—七七頁、七八頁)。

(未完)

(筆者 佐賀大學文理學部〔哲學〕教授)

## 次 號 論 文 豫 告

人生の目的……………	チャールズ・ハーツホーン	三小田敏雄譯
アウグステスマスにおける理性と信仰の問題……………	金子晴勇	
精神現象學の成立史(完)……………	米倉守	
——ヘーゲル精神現象學の研究、一——		
クリスチャン・ヴォルフの定義の說について……………	細川董	
——ヴォルフ研究、其の二——		

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會(振替口座京都四〇三九番 京都哲學會)宛に規定の會費(年一、二二〇圓又は半年六一〇圓)をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社(振替口座東京九二四七二番創文社)宛に願います  
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい、(一年分又は半年分)會費は原則として本誌十二冊(又は六冊)の送附済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年(又は半年)毎に精算します

一、會員の轉居入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい  
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田  
京都大學文學部内

昭和三十五年九月三十日印刷  
昭和三十五年十月一日發行

編集人

京 都 哲 學 會  
京 都 大 學 文 學 部 内

編集代表

土 岐 邦 夫

發行人

久 保 井 理 津 男  
東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二

印刷人

堀 内 文 治 郎

印刷所

堀 内 印 刷 所  
東 京 都 神 田 三 崎 町 二 一 六

發 行 所

株式會社

創 文 社  
東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二

振替口座 東京 九二四七二番  
電話 丸ノ内 包 四〇〇八番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい  
一、本誌の御註文はすべて代金送料共(一部、定價一  
二〇圓、送料・八圓)前金にてお送り下さい

昭和  
三十五  
年九月  
三十日  
印刷  
（每月  
一回）

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES  
THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XLI

October, 1960

No. 1

---

---

*Das Problem der Einbildungskraft* .....Shinobu Ishida

*Husserls „Eidos“* .....Takayoshi Aoki

*Über die Verfassung der Phänomenologie des Geistes (I)*  
.....Mamoru Yonekura

Published Monthly

By

**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定  
價  
一  
二  
〇  
圓

IMB 6427